



士会だより



「各部だより 報告」

巻頭言

p. 2

各部だより
スポーツ活動支援部

p. 3

各部だより
健康増進部

p. 4

各部だより
研修部

p. 5

各部だより
保健福祉部

p. 6

各部だより
こども生涯支援部

p. 7

INFORMATION

p. 8-10

会長行動録
数珠繋ぎ

p. 11-12



「資質の向上」に向けての取り組み

一般社団法人兵庫県理学療法士会
常務理事 檀辻 雅広

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県理学療法士会員の皆さまにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も全国的に新型コロナウイルスの感染拡大がおさまらず、それぞれの職場や家庭において、働き方改革や生活形態の変化に大変なご苦労があったことと思います。

現在、兵庫県理学療法士会の運営も大きな変革の時期を迎えており、多くの事業で見直しや再検討が行われています。そのなかで兵庫県理学療法士会では「士会事業の大目標」という名のアジェンダを掲げ、それに従って活動を行っています。

2023年度の大目標は、

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 士会員の生活を守るための事業 | 2. 資質の向上 |
| 3. 女性活躍の推進 | 4. 事務局機能の充実 |
| 5. 士会事業・予算の検討 | 6. 支部活動 |

の以上6項目で構成されています。それぞれの項目の詳細については本稿では省かせていただきますが、私が主に担当をしているのは学術系の分野なので、それに関連する「2. 資質の向上」について少し説明をいたします。

昨年4月に新生涯学習制度が開始されました。すでに会員の皆さまはご承知のことと思いますが、これまでの生涯学習システムと大きく変わったのは、新人教育プログラムに該当する「前期研修」、「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」になり、そして「登録理学療法士」は5年ごとに更新する生涯学習制度が明確になったことです。登録理学療法士を更新するための要件は、自己研鑽としてカリキュラムコードに準じた学習でポイントを取得することが基本になります。また、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」「専門理学療法士」制度が再構築され、取得方法が変更になりました。さらにマイページが一新され、JPTAアプリによる生涯学習管理が可能となりました。

このような新生涯学習制度の方針変更に沿って、先に挙げた大目標の「資質の向上」では、1)登録理学療法士取得・補充プログラムの推進、2)認定・専門理学療法士取得の推進、3)将来の臨床実習指導者講習会あり方の検討、4)県学術大会プログラム・運営方法の検討、5)地域リハ・予防関連の研修の充実、6)感染対策知識、技術の普及と人材育成、を中心に、会員の皆さまが生涯にわたり知識・技術の維持・向上が可能となるように、豊富な学習機会を分かりやすく提供する制度設計を作っていく所存です。

最後になりますが、第34回兵庫県理学療法学会を2023(令和5)年6月25日に、アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)で開催いたします。本学会から学会長を公募する形になり、記念すべき初の大会長を私が務めることとなりました。これまで以上に多領域が集う学術大会を目指すとともに、兵庫県学会ならではの特色ある大会運営を行っていきます。多くの専門領域を含有する企画を準備中ですのでどうぞご期待ください。

各部だより

スポーツ活動支援部

高校野球Web症例報告会

2022年10月20日、令和4年度兵庫県高校野球大会(春季・選手権・秋季)メディカルサポートで発生した事例をもとに症例検討会を開催しました。

内容は、症例報告:「アキレス腱損傷疑いに対する応急対応(村岡 潮美:神戸百年記念病院)」、グループディスカッション:「頭部外傷への対応(上原 拓也:東浦平成病院)」で実施しました。実際に受傷時の映像も見ていただき、現場での緊張感がより伝わったのではないかと思います。



(感想文)

今回、初めてスポーツ活動支援部野球班のWEB勉強会に参加させて頂きました。私自身、スポーツ現場の経験が少ない為、先生方からの話を聞くことができとても貴重な経験となりました。サポート対応で一番大切な事は生命に関わる事を最優先に考え、評価・処置する必要がある事を学びました。特に頭部外傷では脳振盪・脊髄損傷など評価・処置する順番を間違えると命を落とすリスクがあり、常に対応できる準備をしておく必要があると感じました。また、グループディスカッションではなかなか自分の意見を伝える事が出来ず、知識不足を痛感し次回の課題となりました。今後は勉強会の経験を活かし更なるスキルアップに繋げて行きたいと考えています。

高木 佑馬(よねだ整形外科)

スポーツ障害の勉強会や現場活動に関心のある方は、QRコードにアクセスしてサポートスタッフへ登録してください。案内メールを送信いたします。

「選手は皆さんのサポートを待っています」



各部だより

健康増進部

活動報告

R4年度介護予防推進リーダー研修

健康増進部では11月27日(日)にWeb配信にて介護予防推進リーダー研修を実施しました。

1限目では洲本市役所より畑山先生をお招きし地域リハビリテーション活動支援事業の歴史と必要性、今後の展望について講義頂きました。2、3限目は三栖先生(甲南女子大学)、和田先生(三田市民病院)による講義、グループワークを行い自主活動グループ支援時に必要な地域住民様への動機付けや継続運営指針について学びました。地域リハ支援事業の認識が進んでいる為か、リーダー研修開始時より年々ディスカッション内容の質が向上しており、とても有意義なグループワークとなっております。4限目では実際に地域へ出務した際に行う具体例を共有し研修は終了となりました。

来年度はJPTAより受講カリキュラムの更新が報告されております。来年度も受講者の方がより有意義に地域リハビリテーション支援事業へ参加ができるような研修会を計画したいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

松下 和樹(日の出医療福祉グループ 老健サンライズ)



研修部

第2回実技講習会 in 大久保病院

『膝関節疾患に対する目からウロコな評価と治療』

～明日からの臨床が楽しくなる実技セミナー～

今年度2回目の実技講習会を大久保病院にて開催させていただきました。講師は『大久保病院』の水島先生、三宅先生、『ひろせ整形外科リハビリテーションクリニック』の久須美先生にお願いしました。感染対策を十分に行ったうえでの講習会となりましたが、参加者は35名で、定員一杯となり、やはり実技講習に参加したいという思いを持っている県士会員の方が多いと感じました。実例を踏まえた座学と非常に多くの実技を行ってくださり、局所と全体の評価、エコーを使用した評価方法、姿勢や運動連鎖を考えた運動などの講義もあり、これからの理学療法評価・治療の方向性を示してくれたように感じました。

このような対面での実技講習会を見て、早くこのような形が感染などを気にせず開催できる日が待ち遠しく思います。

福林 秀幸(神戸総合医療専門学校)



各部だより

保健福祉部

実技研修

「姿勢と動作の理解とその評価」

10月30日(日)、保健福祉部主催の実技研修会「姿勢と動作の理解とその評価」を開催しました。コロナ禍前は、「臥位・座位・立位」の姿勢と「起き上がり・立ち上がり・着座・移乗」の動作について、丸一日かけて相互実習を行っていましたが、一昨年より、オンラインにて解説と自己体験による研修に形を変えたため、今年度はメニューを「座位姿勢」と「立ち上がり・着座・移乗動作」に絞って実施しました。姿勢や動作を理解するポイントは“支持面”と“重み”の関係であり、この捉え方が対象者にどの要素が不足しているのかの評価につながります。参加者には実際に身体を動かして体験することで、私たちが動く時に“支持面”がどのように変化し、“重み”がどのように移動しているのかを感じていただき、また、より具体的に理解を深めていただけるように、体験ごとに自分で感じたことをグループ内でシェアする話し合いも行ってもらいました。

終了後の感想としては「臨床現場で立ち上がりや着座、移乗での重みの移動を意識した練習を行っていきたい」、「経験で行っていたことが言語化できたことで、リハビリの際の声かけに活かせると思う」といった声が聞かれました。基本的な姿勢や動作を適切に支援することは、心身機能や活動能力の低下を予防し、生活機能の向上に留まらず、健康状態への悪影響を防ぐことにもつながります。来年度こそはみなさんと直接実習ができることを期待していますので、ぜひ、たくさんのご参加をお待ちしています。

長濱 佑亮(適寿リハビリテーション病院)



病院を母体とする医療の総合教育校

医療系 8 学科

- 診療放射線科
- 臨床工学科
- 視能訓練士科
- 理学療法士科
- 作業療法士科
- 言語聴覚士科
- 歯科衛生士科
- 臨床工学専攻科

Since 1973 医療法人社団 慈恵会
KCC 神戸総合医療専門学校
〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目1番21
お問い合わせはコチラ TEL 078-795-8000(代表) 078-795-8100(入試・広報係) HP <https://www.kobecc.ac.jp>
神戸総合医療 鉄道 スマートフォンアプリ

看護リハビリテーション学部
理学療法学科

女性だから、できるケアがある。
女子大学で、女性のための理学療法を学び、リーダーシップがとれる理学療法士へ。

甲南女子大学
KONAN WOMEN'S UNIVERSITY
〒658-0001 神戸市東灘区森北町 6-2-23

理学療法学科公式サイト 理学療法学科公式 Instagram

こども生涯支援部

活動報告

令和4年度公開研修会を開催しました

令和4年11月6日(日)、兵庫県理学療法士会会員、こどもの支援に関わる方、一般の方を対象とした公開研修会を開催しました。

国際母子手帳委員会事務局長として幅広くご活躍されている板東 あけみ先生をお迎えし、「小さく生まれたお子さんの育児支援～リトルベビーハンドブックの作成とその広がり～」についてオンラインにてご講演頂きました。兵庫県下の理学療法士だけでなく看護師、保健師といったリトルベビーの支援に関わる関係職種やリトルベビーのご家族の参加もありました。アンケートより80%以上の方から「とても満足」「満足」との評価をいただき、板東先生がご経験談などを交えながら講演頂いたことから、「とてもイメージがしやすかったです」。また、「リトルベビーハンドブックを知ることで、今後のご家族への支援の重要性を改めて考えさせられた」とのご意見もありました。

今後への要望として、「当事者の母親やご家族の声が聞きたい」などの意見が挙がったことから、次年度以降の開催に当たって内容を検討し、より多くの方に満足いただけるよう、企画・運営していきます。今回、板東先生のご厚意からアーカイブ配信を行っています。見逃された方も是非ご覧いただければと思います。

木原 健二 福田 哲也 津吉 広太(こども生涯支援部)



～精銳の教員陣による人間教育～

リハビリテーション学部

理学療法学科

神戸国際大学

リハビリテーション学部／経済学部
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6
TEL:078-845-3111(代表) FAX:078-845-3200



リハビリ訪問看護ステーション部 アスリートサポート部 ソーシャルメディア広報部

Steps

想いをカタチに

予防医療部 ウイメンズヘルス部 ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所 〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203



医療で社会をつなぐ
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園
TUMH 宝塚医療大学
TAKARAZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL AND HEALTH CARE

保健医療学部

理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科

0120-00-1239
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑カ丘 1
宝塚医療大 検索
http://www.tumh.ac.jp/



10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む

総合リハビリテーション学部

理学療法学科
● 理学療法士国家試験受験資格
● 健康運動実践指導者認定試験受験資格
※指定科目の単位修得者が取得できる資格

総合リハビリテーション学研究科
大学院 修士課程・博士後期課程

作業療法学科
● 作業療法士国家試験受験資格

神戸学院大学

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
有瀬キャンパス TEL(078)974-1551(代表)

第 34 回兵庫県理学療法学術大会 ご挨拶

第 34 回兵庫県理学療法学術大会
大会長 檀辻 雅広



このたび第 34 回兵庫県理学療法学術大会を、2023(令和 5)年 6 月 25 日(日)に姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)で開催いたします。

兵庫県理学療法学術大会は、1988(昭和 63)年に第 1 回大会が開催されました。これは第 1 回大会前年の 1987 年に第 22 回日本理学療法士学会の開催を兵庫県士会が担当をしたことがきっかけでした。当時の故山下隆昭県士会長が、全国学会準備の経験を県士会員に広め、県下の支部(当時ブロック)の連携強化と、県内での研究や技術向上を目的に兵庫県学会を開催されたことに端を発します。その後兵庫県学会は、準備・運営を県下支部が持ち回りで担当することになりました。また、担当支部から大会長をはじめ準備委員、運営スタッフを充てることで、支部内の連携強化が図られるとともに、担当支部の特色が出た学会が開催されてきました。

今回、日本理学療法士協会の新生涯学習制度の開始による新たな仕組みへの対応、日本理学療法学会連合設立による総合的に討論ができる学術大会の減少、県下支部の巡回した大会運営に区切りがついたことなどから、従来の運営方法を見直し、学術大会の大会長を公募する形に改めました。大会長を公募することで、さらに学会の活性化を図り、多領域の情報を発信し討議すること、実践報告や症例報告で膝をつき合わせた討議を行うことなど、県の学術大会ならではの特色のある大会運営を目指します。そこで本学会のテーマは、「理学療法評価を極める～慧眼 けいがん(本質を見抜く力)～」としました。理学療法は、「評価に始まり評価に終わる」と言われることから、「理学療法評価を極める」というテーマは、新しい学術大会のスタートを切るのに相応しいテーマであると考えます。またサブタイトルの「慧眼」は、仏教では物質的、精神的なすべてのものを見通すことのできる眼を表すと言われていています。本学術大会では、特別講演、公募型シンポジウム、教育講演、企画演題、症例検討などから、最新の知見や技術、臨床推論の過程などを提示することで、理学療法評価の慧眼の議論が深まることを期待しています。

兵庫県理学療法学術大会は、すべての県士会員の資質の向上に寄与することを目的としています。大会の役割の一つとして、より多くの優れた研究者や臨床家、教育家を育てることが使命と考えています。会員の皆さまには日ごろの成果を報告していただく場を数多く提供したいと考えています。是非多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

理学療法評価を

極

める

SUB TITLE
慧眼けいがん（本質を見抜く力）



兵庫県理学療法学会
<https://hyogo-pt.or.jp/gakkai/>

第34回兵庫県理学療法学会

会場／アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）
〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2

大会長／檀辻 雅広 株式会社ソリス
主催／一般社団法人 兵庫県理学療法士会

2023.6.25 SUN



運営事務局：株式会社コンベンションアカデミア 〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル4階 TEL:03-5805-5261 FAX:03-3868-2113 E-mail:hyta@coac.co.jp



令和4年12月吉日

「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会（第一報）

この度、脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士や看護師の方々に、専門的な知識や技術を学び、より適切な支援を行えるよう養成することを目的に『脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業』研修会を開催します。本研修会は新型コロナウイルス感染状況を見ながら、実技も含めた対面研修を開催する予定です。感染者数の増加など対面での研修会が難しいと判断した場合には、開催中止とさせていただきますのでご了承ください。

「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会（2日間開催）

日時 : 令和5年3月4日(土)・5日(日)
 1日目: 10時00分～17時10分 / 2日目: 10時00分～17時10分
 (受付 9時30分～) (受付 9時30分～)

場所 : 神戸臨床研究情報センター (TRI)
 (住所) 〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目5番地4号
 (交通) 神戸新交通ポートライナー「三宮駅」から乗車12分、
 「医療センター(市民病院前)駅」下車すぐ

募集定員 : 20名程度
 ※定員に達した場合は、選考させていただきます。
選考の結果は2月上旬にお知らせいたします。

受講対象 : 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・保健師

参加費 : 2,000円

申込方法 : メールまたは、FAX(別紙申込用紙)にてお申し込みください。
 メールでの申し込みの際は、amariha.pos@gmail.com宛てに
 件名に「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会申込
 本文に①所属施設名 ②氏名 ③職種 ④経験年数 ⑤小児経験年数
 ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧住所 ⑨メールアドレス
 上記9項目を記載の上、メールにて申込をお願いします。
 ※お申し込み後、1週間以内に「受付完了のお知らせ」が届かない場合は、
 研修会事務局(06-6481-5565)までご連絡をお願いいたします。

申込締切 : 令和5年1月31日(火)正午

【問い合わせ先】兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター事務局

TEL 06-6481-5565 / FAX 06-6481-5560

E-mail amariha.pos@gmail.com

※参加申込の際にご記入いただきました個人情報は厳正に管理し、本研修会に関する確認・連絡の通知の際に使用させていただきます。他の目的での利用や第三者へ提供することは一切ございません。

会長 行動録

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 10月21日 | 理事会出席 | 11月19日 | 兵庫医科大学評議会参加 |
| 10月20日 | 伊藤理事、石川会長と会談 | 11月29日 | 士会役員協議会・男女共同参画推進委員会
合同研修会参加 |
| 10月31日 | 檀辻理事、有吉理事と相談
小森理事、岩田理事と相談 | 11月30日 | 兵庫県医務課依頼資料作成 |
| 11月2日 | 小森理事、岩田理事と相談 | 12月3日 | 管理者ネットワーク講演資料作成 |
| 11月4日 | 近畿ブロック士会長事務局長会議出席 | 12月4日 | 令和4年度管理者ネットワーク研修会講演
厚労副大臣伊佐議員との懇親会出席 |
| 11月7日 | 兵庫県医務課波多野課長から依頼 | 12月5日 | 沖山・小森理事と会談 |
| 11月8日 | 小森理事、岩田理事と相談
兵庫県リハビリテーション協議会
第1回理事会出席 | 12月7日 | 山本理事と会談、山口理事と会談
士会目標資料、管理者研修資料作成 |
| 11月9日 | 兵庫県議会谷井議員から依頼 | 12月8日 | 拡大理事会出席、士会目標について説明 |
| 11月10日 | 訪問リハ検討会議出席 | 12月12日 | 兵庫県医務課依頼資料作成・提出 |
| 11月13日 | 訪問リハに関する資料作成 | 12月14日 | 令和4年度協会指定管理者初級研修会講演
斎藤協会長との勉強会出席
第4回キュア神戸本会議出席 |
| 11月14日 | 兵庫県庁にて訪問リハビリテーション
に関する現状と課題について説明 | 12月15日 | 常務理事・三役会出席 |
| 11月15日 | 兵庫県財務課より質問 | 12月16日 | 理事会出席 |
| 11月16日 | 兵庫県医務課波多野課長から依頼 | | |



リハメト PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

POINT 5

どこでも学べる
日本最大の講師数
オフライン再生対応
配信スケジュール
31日公開

豪華講師陣が
続々登場!

1ヶ月見放題プラン
通常料金 3,080円が初回限定で...

980円 (税込)

法人様向けプランも
ご用意しております

リハビリテーションを
「かたち」にする会社 **gene**

お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします

seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611

〒461-0004 愛知県名古屋市中区長1丁目26-12 1KKO新栄ビル 6階

人にやさしい人になる

PHYSICAL THERAPY ● OCCUPATIONAL THERAPY ● SPEECH THERAPY
● 理学療法学科 ● 作業療法学科 ● 言語聴覚学科 ●

KRC 関西総合リハビリテーション専門学校

E-mail krc@junshin.or.jp 〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島7番4
http://www.krc-net.jp/ TEL.0799-60-3600 FAX.0799-60-3610

医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。

その夢を叶える学校です。

神戸医療福祉専門学校中央校
【介護福祉士科】 【鍼灸科】 【精神保健福祉士科】
〒650-0015 神戸市中央区東雲町2丁目6番5号
URL: https://www.kmwc.ac.jp

神戸医療福祉専門学校三田校
【理学療法士科】 【作業療法士科】 【言語聴覚士科】
【医療秘書士科】 【福祉施設作業士科】
【保健師科】 【聴覚科】 【製剤科】
〒669-1313 三田市福島501-85
URL: https://www.kmwc.ac.jp

姫路医療専門学校
【理学療法士科】 【言語聴覚士科】 【臨床工学技士科】
【製剤科】
〒670-0927 姫路市駅前町27番2
URL: https://www.hmc.ac.jp

より実践的な
多職種連携「つが」が学べる、
新たな兵庫医科大学へ

なにか。強い医療人
なりたいか。

2022年4月 開設
薬学部 | 看護学部 | リハビリテーション学部
医学部を擁する西日本最大級の医系総合大学に。

兵庫医科大学



社会福祉法人 芳友
神戸医療福祉センター
にこにこハウス
伊藤 蘭氏



略歴 & 職歴

2016年3月
甲南女子大学
看護リハビリテーション学部
理学療法学科 卒業

2016年4月
(旧)社会福祉法人 芳友
にこにこハウス医療福祉センター

(現)社会福祉法人 芳友
神戸医療福祉センター
にこにこハウス 入職

趣味

フラダンス

私は重症心身障害児者施設である神戸医療福祉センターにこにこハウスに勤務し、入所・外来の利用者様を担当しています。

年齢は生後数か月から70歳代と幅広く、身体機能も歩行可能な方から寝たきりで人工呼吸器を装着している方まで様々な利用者様がいらっしゃいます。理学療法士は運動療法やホームプログラムの提案、姿勢管理等の呼吸ケア、補装具の作製等を中心に介入しています。医師や看護師、介護福祉士、保育士などの多職種と連携し、利用者様の生活が充実したものとなるよう奮闘しています。

重症児者にとって、呼吸器感染は生命を脅かす大きな問題ですが、その予防方法や呼吸管理方法などの多くは明らかになっていません。呼吸器感染を予防し活動的な毎日を過ごしてほしい、理学療法士として最適な呼吸ケアを取り入れたいという想いから、大学院への進学を決意しました。大学院では様々な分野の理学療法士の考えに触れ、刺激の多い充実した日々を送っています。

まだまだ未熟ではありますが、重症児者とそのご家族の身体的・精神的・社会的に満ち足りた生活を目指して今後も頑張ります。

次は同じく重症児者の理学療法に従事されている西宮すなご医療福祉センターの矢嶋咲紀さんへおつなぎします。

表紙写真

ウィズコロナの中、試行錯誤しながらも士会員や一般の方に向けた研修会や、地域に根差した活動を行っている各部の様子です。

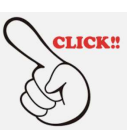
活動の様子や研修会報告は、ホームページ・SNSでも随時更新していますので、併せてご確認ください。

県士会だより 第198号
発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者/間 瀬 教 史
編集者/筒 井 章 悟

ホームページ
<http://hyogo-pt.or.jp/>



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階
TEL 078-367-7311